

第 8 期

計 算 書 類

自 2021 年 4 月 1 日  
至 2022 年 3 月 31 日

エイベックス・ピクチャーズ株式会社

## 貸借対照表

( 2022 年 3 月 31 日 )

エイペックス・ヒール・チャーズ株式会社

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
[資産の部]		[負債の部]	
流動資産	8,331	流動負債	7,622
現金及び預金	12	買掛金	136
売掛金	3,861	関係会社短期借入金	59
営業有価証券	0	未払金	4,038
製商品	100	未払印税	1,826
仕掛品	1,101	未払法人税等	39
その他棚卸資産	513	未払事業所税	2
前渡金	1,262	未払消費税等	140
前払費用	76	未払費用	17
前払印税	5	前受金	205
未収入金	1,314	前受印税	19
立替金	89	預り金	749
貸倒引当金	△ 6	賞与引当金	36
固定資産	873	返金負債	348
有形固定資産	0	その他流動負債	0
工具器具備品	0	固定負債	21
投資その他の資産	873	預り保証金	21
投資有価証券	6	負債合計	7,643
関係会社株式	115	[純資産の部]	
破産更生債権等	0	株主資本	1,561
長期繰延税金資産	748	資本金	100
その他	4	資本剰余金	1,100
長期貸倒引当金	△0	利益剰余金	361
		利益準備金	25
		その他利益剰余金	336
		繰越利益剰余金	336
		純資産合計	1,561
資産合計	9,205	負債及び純資産合計	9,205

## 損 益 計 算 書

( 自 2021 年 4 月 1 日  
至 2022 年 3 月 31 日 )

エイベックス・ピクチャーズ株式会社

(単位：百万円)

科目	金額	
売 上 高		10,738
売 上 原 価		7,000
売 上 総 利 益		3,737
販売費及び一般管理費		3,415
営 業 利 益		322
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	11	
そ の 他	0	12
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	0	
出 資 金 運 用 損	2	
為 替 差 損	26	
そ の 他	0	29
経 常 利 益		304
特 別 損 失		
災 害 に よ る 損 失	28	
割 増 退 職 金	3	32
税 引 前 当 期 純 利 益		272
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	189	
過 年 度 法 人 税 等	16	
法 人 税 等 調 整 額	△ 141	64
当 期 純 利 益		208

株主資本等変動計算書

(自 2021 年 4 月 1 日  
至 2022 年 3 月 31 日)

エイベックス・エンタテインメント株式会社

(単位：百万円)

	株主資本								株主資本計	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金計	株主資本計		
		その他資本剰余金	資本剰余金合計		繰越利益剰余金	その他利益剰余金合計				
当期首残高	100	1,100	1,100	25	127	127	152	1,352	1,352	
当期変動額										
当期純利益	-	-	-	-	208	208	208	208	208	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								-	-	
当期変動額合計	-	-	-	-	208	208	208	208	208	
当期末残高	100	1,100	1,100	25	336	336	361	1,561	1,561	

## 注 記 事 項

### I 重要な会計方針

#### 1. 資産の評価基準及び評価方法

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法（営業投資有価証券も含む）
  - 子会社株式及び関連会社株式…………… 移動平均法による原価法
  - その他有価証券
  - 時価のないもの…………… 移動平均法による原価法
  - 投資事業有限責任組合への出資…………… 最近の決算書等に基づく当社持分相当額により評価しております。
- (2) たな卸資産の評価基準及び評価方法
  - 商品、製品、貯蔵品…………… 移動平均法による原価法  
（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）
  - 仕掛品、映画版權…………… 個別法による原価法  
（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）

#### 2. 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産
  - 定率法、ただし1998年4月1日以降取得した建物(建物附属設備は除く)については定額法によっております
  - なお、耐用年数は以下のとおりであります。
  - 工具器具備品…………… 4～5年

#### 3. 引当金の計上基準

- (1) 貸倒引当金
  - 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
- (2) 賞与引当金
  - 従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

#### 4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

- (1) 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算の基準
  - 外貨建金銭債権債務は、決算期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は営業外損益として処理しております。
- (2) 消費税等の処理方法
  - 消費税等の会計処理は税抜方式によっております。
- (3) 連結納税制度の適用
  - 連結納税制度を適用しております。
- (4) 連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用
  - 当社は、「所得税法等の一部を改正する法律」（令和2年法律第8号）において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第39号 2020年3月31日）第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日）第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。
- (5) その他
  - ① 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。
  - ② 記載金額が「0」は百万円未満であることを示しております。
  - ③ 記載金額が「-」は該当金額がないことを示しております。

## II 損益計算書に関する注記

災害による損失

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、ライブ・イベントの開催を自粛したこと等による損失であります。

## III 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末における発行済株式の数 2,000株